

2011 年度事業報告書

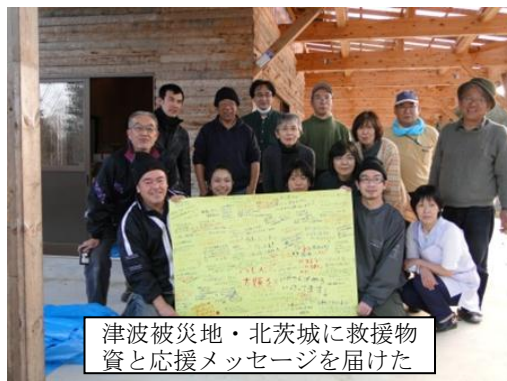
2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ

2011 年度茨城 NPO センター・コモンズの 10 大ニュース

1. 1,000 万円以上の寄付を集め、多くの被災地支援活動を支援できた！

北茨城市や福島県いわき市の被災者を、多様なセクターの連携により支援するホープ常磐プロジェクトを展開し、**1,000 万円**を超える募金をもとに NPO や生協、企業などの様々な被災地支援活動を応援しました。



津波被災地・北茨城に救援物資と応援メッセージを届けた

2. 悲願の NPO 法改正、税制改正実現に貢献した！

全国の NPO と連携して、NPO 法施行以来の念願だった法改正や税制改正をついに実現させました。NPO がより寄付を集めやすい環境が整いました。

3. 茨城県新しい公共支援事業運営委員会において、市民活動基盤整備について提言！

茨城県の市民活動基盤整備のために **1 億 7,200 万円**もの税金が内閣府から降りてきました。県議会で予算が通った後でしたが、より効果的な予算活用のため、他のマルチ・ステークホルダーの委員とともに、茨城県に対し運営委員会の場で何度も提言を行いました。これほど真剣に NPO の未来について県と対話できたのは画期的なことです。

4. 『NPO 活動・協働推進体制強化に関する請願』が県議会で採択！

茨城県としての NPO 活動・協働推進体制を強化するため、県内各地域 **8 法人**の世話団体のもと、**102**の NPO 法人及び **366 名**の個人にご賛同いただきました。紹介議員として超党派で **8 名**の県議にご協力いただき、全会一致で県議会にて採択されました。これは 1998 年 NPO 法施行以来初の快挙です。その成果として NPO 担当の県職員（嘱託）が 1 名増員されました。



市民ファンドの設立準備検討会

5. 市民ファンド創設の足がかりを掴めた！

地域円卓会議の一つのテーマで提起された市民ファンド創設について、新しい公共支援事業予算を活用しながら、マルチ・ステークホルダーで構成される設立準備検討会で市民ファンド創設に向けた土台を固めることができました。

2011 年度事業報告書

2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日まで

6. 地域円卓会議の仕組みを県内外にさらに普及させた！

多様なセクターの主体（マルチ・ステークホルダー）による地域の課題解決の手法である地域円卓会議を、「新しい公共フォーラム」や執筆活動を通じて様々な場面で紹介しました。協働の新たなスタイルの理解が一層浸透しました。



7. 「寄付社会と NPO」講座や NPO マナビヤといった新たな中間支援の活動を提示した！

寄付についてとことん考える 5 回シリーズの「寄付社会と NPO」講座や、他のセクターとの協働を担える次世代人材育成のための NPO マナビヤ事業など、中間支援組織が今後取り組むべき活動を示すことができました。



8. 介護ヘルパー講座を開講して、在住外国人の新たな職域を開拓できた！

2 年目に入った茨城県国際課からの委託事業である茨城県外国人就労・就学サポートセンターの事業では、公立学校入学前のプレスクールや高校進学支援の体制をつくりました。また、就労支援では介護ヘルパー2級講座を開講し、**11 名**の介護資格取得に貢献しました。在住外国人に対し、今後拡大する介護職への就労可能性を広めることができました。



9. 生協との連携がさらに深まった！

被災地支援活動や地域円卓会議を通じて、生協との連携がこれまで以上に深まりました。セカンドリーグ構想実現のため、パルシステム茨城からは 1 年間の出向職員を受け入れることに発展しました。

10. 全国の NPO セクターのネットワークづくりに茨城から貢献した！

日本 NPO センターや NPO 会計基準協議会への運営参画を通じて、全国の NPO 支援ネットワークの向上に努めました。

2011年度茨城NPOセンター・コモンズ事業全体図

分野 対象	1. 調査	2. 情報発信	3. 研修	4. ネットワーキング・ コーディネート	5. 提言
A. 市民活動 を行いたい 個人	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5
	①いばらき未来基金（仮称）設立のための 先進事例調査 ②セカンドリーグ構想の研究	①冊子『茨城のNPO』出版	①NPO設立相談 ②社会的起業支援講座開催 ③自治体のNPO講座開催 ④インターン、ボランティアの受入 ⑤土浦市協働シンポジウム開催 ⑥土浦市地区別ワークショップ開催	①市民活動希望者とNPOをマッチング②東日 本大震災被災者支援ネットワーク(ホープ常磐プ ロジェクト)運営 ③茨城NPO応援ファンド(仮)設立準備検討会 の開催	
B. NPO	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5
	①いばらき未来基金（仮称）設立のための 先進事例調査 ②NPO関連政府予算の調査 ③県内NPOヒアリング ④NPO財務データベース構築のための団体 調査 ⑤公益ポータルサイトの研究会参画 ⑥ソーシャルビジネス支援のファンドの可 能性研究 ⑦全国民間ボランティア・市民活動推進者 企画戦略会議実行委員会への参画 ⑧オンライン寄付の可能性調査 ⑨NPO法人会計基準に関する調査 ⑩認定NPO制度の調査	①ウェブサイトでの助成金の紹介 ②機関紙、新聞、ミニコミ誌などでNPOに 関する定期連載 ③NPOデータベースの運営 ④NPO法人会計基準の報告書の販売協力 ⑤情報誌にてNPO法人会計基準、認定NPO 法人制度の紹介	①NPO運営相談 ②NPOマナビヤ開催 ③NPO就労支援事業 ④「寄付社会とNPO」講座開催 ⑤エクセレントNPOの講座開催 ⑥NPOセミナー開催 ⑦NPO法人会計基準セミナー開催 ⑧認定NPO法人セミナー開催 ⑨会計基準、認定NPO法人に関する相談受 付 ⑩SAVE JAPANプロジェクトでの環境保全 活動促進	①茨城NPOネットワーク会議開催 ②県内各地域巡回のNPO新制度説明会開催 ③東日本大震災被災者支援ネットワー ク(ホープ常磐プロジェクト)運営 ④移動困難者に関わる団体職員のための災 害時避難訓練 ⑤茨城NPO応援ファンド（仮）設立準備検 討会の開催 ⑥フードバンク茨城の運営参画	①NPO会計基準の策定参画、NPO法人会計 基準協議会暫定事務局の運営 ②『NPO活動・協働推進体制強化に関する請 願』採択のため、県議会へロビイング
C. 企業	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5
	①いばらき未来基金(仮称)設立のための先進 事例調査 ②セカンドリーグ構想の研究		①寄付付き商品に関する講座開催	①茨城NPO応援ファンド(仮)設立準備検討会 の開催 ②東日本大震災被災者支援ネットワーク(ホー プ常磐プロジェクト)運営 ③セカンドリーグ茨城設立のためのパルシステ ム茨城支援 ④常磐震災復興支援スキーム構築円卓会議の 開催	①水戸市中心市街地活性化協議会福利厚生部 に委員として提言
D. 自治体	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5
			①行政職員対象の協働研修開催 ②NPO活動推進自治体フォーラムでの講演 ③土浦市協働シンポジウム開催 ④土浦市地区別ワークショップ開催	①行政職員対象の協働研修時の情報交換 ②茨城市民活動支援機関情報交換会の開催	①新しい公共支援事業運営委員会での提言 ②『NPO活動・協働推進体制強化に関する 請願』採択のため、県議会へロビイング ③自治体協働事業へ委員として助言
E. 日系人	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5
	①多文化共生施策の調査		①在住日系人のための介護資格取得支援講 座の開催 ②多文化共生に関する講演会開催	①茨城県外国人就労・就学サポートセン ター事業運営	
F. A～E全て	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5
	①社会的責任に関する円卓会議への参画	①地域円卓会議に関する寄稿			①地域円卓会議の開催

	・・・成果を生み出した
	・・・ある程度の成果を生み出した
	・・・成果を生み出せなかった

事業名	担当者	昨年度定時総会時点での事業計画	評価項目			
			プロセス (市民や他の組織が事業へ参画するようになったか)	結果 (2012年度以降の展開や財源へのインパクト含む)	外部への情報発信とその反響	残された課題
自治体に対する政策提言・研修と「新しい公共支援事業」への対応	横田、江崎	～本物の市民活動基盤整備につなげるために～ 茨城県のNPO支援体制の抜本的課題解決に向けて、職員増員、NPO担当室の独立、NPOと県担当者との交流機会づくりなどを提言します。県から市町村へのNPO業務権限移譲に対応するため、市町村職員を対象とした情報提供や研修を実施します。 また、『新しい公共支援事業』が内閣府が発行したガイドラインに基づいて茨城でも実施されるように提言します。さらに『新しい公共支援事業』の財源を活用して、NPOなどの企画提案を側面的に支援したり、市民活動基盤整備や寄付推進事業を具体的に展開していきます。	市民活動の基盤整備のための内閣府からの1億7,200万円もの交付金が、内閣府のガイドラインに沿い、かつ真にNPOが活動しやすくなるようなかたちで使われるよう、新しい公共支援事業運営委員会を通じて、他のマルチ・ステークホルダーの委員とともに繰り返し提言を行いました。	運営委員会での提言を通じ、当初3回開催予定だった委員会が 11 回開催となりました。これほど真剣にNPOの未来について県と対話できたのは画期的で、NPOに対する理解が進んだものと思われます。2012年度の新しい公共支援事業の計画にも、こちらの提言がいくつか反映されています。また、基盤整備事業の案としてコモンズからも事業提案を行い、そのうちいくつかが予算化されました。	新しい公共支援の運営委員会の状況について、新聞や会報、集会などで情報発信を行い、多くの団体の賛同を得て、提言を強くしました。市民からは中々見えづらい行政内部の意思決定について、情報発信し、県民の県政ウォッチにつなげました。	2012年度の新しい公共事業について、引き続き運営委員会などを通じて提言をしていくことが必要となります。
		NPOのこの活動、募ります！:ともに政策立案・提言して、NPOの活動環境を改善しましょう。 自治体のこの活動、募ります！:NPOの行政参加の機会を増やして、一緒に地域を支えましょう。 市民のこの活動、募ります！:県政の動きをウォッチして下さい。	現状の茨城県のNPO支援体制では限界があるとして、『NPO活動・協働推進体制強化に関する請願』活動を行いました。県内各地域の 8 つの世話団体の協力のもと、 102 のNPO法人と 366 名の個人に賛同いただきました。	請願活動の結果、紹介議員として超党派で 8 名の県議にご協力いただき、全会一致で県議会に採択、その成果としてNPO担当県職員(嘱託)が 1 名増員されました。	新聞や会報、集会を通じた情報発信が請願への多くの署名と採択につながりました。また、茨城県としてのNPO支援体制の状況を多くの市民に知ってもらう機会となりました。	請願運動の過程で、地域別のNPOネットワークの素地が出来ました。また、県議とのパイプも生まれました。今後はこれらのネットワークを維持・向上していくことが課題となります。
			新しい公共支援事業予算を活用し県内行政職員対象の協働研修を2回開催し(のべ約 80 名が参加)、その中で県から市町村へのNPO関連業務権限移譲を適切に対応できるように体験談などで取り上げました。 その他の新しい公共支援事業基盤整備事業として、茨城NPO応援ファンド(仮)設立準備検討会開催、新しい公共フォーラム開催、NPOセミナー開催、冊子『茨城のNPO』作成に取り組みました。 また、「茨城市民活動支援機関情報交換会」を開催し(13 名参加)、NPO支援方法を模索している行政直営の市民活動センター職員に情報交換の機会を提供しました。	行政職員研修や、市民活動支援機関情報交換会を通じて、NPO支援・協働推進についての理解が進み、継続開催の声が上がりました。	対象が行政職員であるため、特に外部への情報発信は行わなかった。	行政職員研修や、市民活動支援機関情報交換会を継続開催するための財源確保、予算活用が必要となります。
市民ファンド創設に向けた事業	江崎、横田	～地域のNPOが寄付で県民から支えられる仕組みづくりを～ 市民ファンド構想の具体化を図るため、検討会を設置し、運営ルール・体制を協議します。また、寄付者優遇の銀行口座を開設したり、Bokinchan.com導入によりクレジット・カードを使用したオンライン寄付用のウェブサイトを開設します。さらに、職域募金、遺言信託、寄付付き商品などについて企業や団体と共同研究を行います。 一方で、潜在的寄付者に対するNPO団体情報開示の仕組みづくりにも力を入れます。また、NPOを対象としたファンドレイジング研修や組織信頼性向上のための研修を行います。さらに、魅力ある寄付募集プロジェクトを生みだすための企画道場の開催や、企業などからの資金仲介プログラムの検討を実施します。	全 6 回の検討会議と公開シンポジウムの開催で、以下の点で参画の機会を提供できました。 ・検討委員に、茨城県内の企業関係者、メディア、金融機関、労働組合などの方に参加いただき、ファンドが自分たちにとって大きな意味があるものであることを理解いただきました ・NPOの代表者を委員に選出したことで、当事者として意識が高まりました ・公開シンポジウムでは、参加者と委員の間での意見交換もでき、市民にもファンドに関心を持ってもらうことができました	・いばらき未来基金を 3 年後に財団法人にする目標で、2012年度は基金立ち上げに 向けて組織化を図ることが決定しました ・2012年度の財源の確保については、県の支援事業の獲得は流動的ですが、検討委員の協力を得て自主財源の確保に向かって計画を作っていく予定です	市民ファンド推進連絡会へ参画しました。また、別紙に見る通り、新聞紙面で市民ファンド設立の動きを県民にお伝えしました。	2012年度はコモンズ内に基金事務局を設置しますが、人材不足や資金調達が課題となります。
		NPOのこの活動、募ります！:団体情報開示、わかりやすい財務報告をし、本気で寄付を集めよう。 企業のこの活動、募ります！:企業市民として、NPOを支援できる仕組みをともに考えましょう。 市民のこの活動、募ります！:地域でがんばっているNPOを積極的に寄付で支えましょう。				

事業名	担当者	昨年度定時総会時点での事業計画	評価項目			
			プロセス (市民や他の組織が事業へ参画するようになったか)	結果 (2012年度以降の展開や財源へのインパクト含む)	外部への情報発信とその反響	残された課題
ソーシャルビジネス普及支援事業 及びマネジメント支援事業	大野	～持続可能なビジネスモデルを後押し～ 事業収入比率を高めて、ビジネス的手法で社会課題に立ち向かう社会的起業が増加しています。グラウンドワーク三島が進める内閣府『地域社会雇用創造事業』や、パルシステムが進める経済産業省『地域新成長産業創出促進事業』の茨城でのパートナーとなり、ソーシャルビジネスを県内で本格的に振興します。グラウンドワーク三島とは、ビジネスプラン作成講座のコーディネート、ソーシャルビジネス体験インターンシップのサポート、県内先進団体の紹介などを行います。パルシステムとは起業講座、中間支援組織の担い手育成研修、信用組合・信用金庫との提携融資支援の体験研修などを行います。 <u>NPOのこの活動、募ります！</u> : 研修生受入れ協力、企画書作成講座などに積極的な参加。 <u>市民のこの活動、募ります！</u> : 企画書コンペ、起業講座、インターンシップなどに応募しましょう。	社会的起業支援のため内閣府からグラウンドワーク三島が委託された『地域社会雇用 創造事業』の茨城県内の窓口として、三島での短期研修の広報協力(10名以上参加)や、ビジネスプラン作成のための講座開催(約20名参加)、起業コンペの広報協力、インターンのOJT先となるNPOの開拓(7団体の登録)、研修生のコーディネート、新聞などでの事業広報などを行いました。	グラウンドワーク・インターンシップ事業では、複数のビジネスプランが採用され、3つのNPO起業につなげました。	講座やセミナーではチラシやウェブサイト、SNS、新聞紙面、公報などを活用して参加者募集を行いました。残念ながら、インターンシップ事業では、設定された目標人数(20名の参加)には及びませんでした。	グラウンドワーク・インターンシップ事業は終了しましたが、筑波大学の学生派遣など、インターン派遣は今後も継続するため、受け入れ団体の開拓、ネットワークづくりが今後の課題となります。また、今年度後半に予定されているセカンドリーグ茨城設立に向けては、パルシステムが持つ理念、そして資源、ノウハウをいかに地域の新しい課題解決に結び付けていくかを、我々の持つノウハウやネットワークを活かしながら協力関係の中で模索していく必要があります。
			地域活動支援のため「セカンドリーグ茨城」設立準備を進めるパルシステム茨城とともに、パルシステム連合会が開催するコミュニティ・ビジネス支援の研修に参加し、起業支援、事業計画作成支援、金融機関との連携による資金獲得支援のノウハウなどをともに学びました。さらに北茨城の被災者が集まる雇用促進住宅住民有志によるコミュニティ・ビジネス支援も協働で行いました。	セカンドリーグ茨城実現のため、パルシステム茨城から1名を1年間出向職員として受け入れることになりました。		
			その他、NPO運営・設立相談、新しい公共支援事業予算を活用したNPOセミナーや、土浦市、取手市、水戸市からの委託事業であるNPO講座を開催しました。また、筑波大学大学院でのNPO講座も行いました。	筑波大学大学院でのNPO講座のつながりによって、ポストドクや研究者がNPOにインターンとして派遣される仕組みづくりにつなげました。また、これまであまりつながりがなかった自治体や団体からのNPO・協働研修の依頼が来ることとなりました。		
環境ボランティアDAYの開催	大野	～震災がもたらした茨城の希少生物生態系への影響を調査～ 茨城でも、オオムラサキ、蛍、イトヨ、タガメなど生息数が減少している生物の保護活動が各地でさかんに行われています。今回の地震災害で、生き物の生存環境にも大きな影響を与えていると思われます。ダメージを受けた生息地・自然保護公園などの回復作業に多くのボランティアに関わっていただく『環境ボランティアDAY』を、茨城の生物保護団体と連携しながら開催します。 <u>市民団体のこの活動、募ります！</u> : 『茨城の生物を守ろう実行委員会(仮)』の委員となってください。 <u>市民のこの活動、募ります！</u> : 被災状況を調べ、生息地保護のボランティアに参加してください。	希少生物保護のため損保ジャパンが全国的に展開するSAVE JAPANプロジェクトの 茨城でのコーディネートを行いました。当初は震災で被災した生息地の復旧のための環境ボランティアDAY開催を企画していましたが、何度か企画を練り直し、最終的には水戸の逆川に遡上するサケ観察会を、逆川を愛する会との協働で行うこととなりました。約100名の市民が参加し、中心市街地にサケが遡上する全国的にも珍しい環境へ関心を高めることにつなげました。また、その成果として、逆川のまち歩きマップを作成・配布し、市民が自由に逆川の自然環境を楽しめるよう工夫しました。	今年度から本格的に全国展開するSAVE JAPANプロジェクトのパイロット・プロジェクトとして、全国のNPO支援センターに成果と課題を示すことができました。また、今年度の事業継続につなげることができました。	新聞やチラシ、ウェブサイトを通じた広報を行いました。関係者が多く集まり、全く新規で逆川でのサケ観察を楽しむ人は残念ながらあまり集まりませんでした。	これまで希少生物保護に関心がなかった人に関心を向けてもらうという、このプロジェクト本来の目的を達成するため、より綿密な広報計画が今年度は必要となります。また、単なる生物観察会のコーディネートだけではなく、そこに他のNPOが参加し、団体同士の連携が図れるようなネットワークを生むことが今年度のチャレンジになります。

事業名	担当者	昨年度定時総会時点での事業計画	評価項目			
			プロセス (市民や他の組織が事業へ参画するようになったか)	結果 (2012年度以降の展開や財源へのインパクト含む)	外部への情報発信とその反響	残された課題
被災者を支える事業	安久	震災に対応するため、次頁の『ホープ茨城プロジェクト』を遂行します。被災者と県内NPOの被災状況把握すると同時に、被災者支援を行う県内各組織が情報共有するためのサイトや、被災者への情報支援のためのサイトを新設します。 <u>NPOのこの活動、募ります！</u> ：どうすれば被災者を支えられるのか、ともに考えましょう。 <u>自治体のこの活動、募ります！</u> ：NPOとともに復興を考えましょう。 <u>市民のこの活動、募ります！</u> ：ボランティアや寄付でNPOの活動に参加しましょう。	3.11未曾有の大震災を受けて、多様なセクターとつなぎ役としての様々なアプローチで被災地支援、被災者支援活動を行ってきました。			
		ホープ常磐プロジェクト(福島・茨城の民間協力推進) 事業 1. ボランティア活動を支えるための組織間連携 ① 茨城県内の社協ボラセンと被災地支援活動を行うNPO、企業CSRなどの情報を共有するための仕組みづくり。情報共有ホームページの構築運営 ② いわき市の支援活動と茨城の支援活動を繋げるための的確なニーズ把握と伝達 ③ 県内の支援活動関係団体間の情報交換と協働事業の具体化 ④ 支援物資、倉庫、車両の使用に関する連携 ⑤ ボランティアバスの運行、ボランティア募集派遣に関する協力 ⑥ 避難所などと支援活動(炊き出し、足湯、慰問など)のマッチング支援 2. 福島からの避難者の生活再建に関する連携促進 ① 情報支援(民間の支援情報の瓦版の配布、WEB情報サービス) ② 移動支援(福島への移動、茨城県内の移動への移動サービス) ③ 仕事や住居に関する情報提供とマッチング支援、NPOなどでの就労支援 ④ 避難者の課題解決に役立つNPOの事業化支援 3. 原発リスクへの対応に関する連携促進 ① 移動困難者(施設入所者、在宅障害者など)の災害訓練、避難時の体制づくり 4. 農業支援に関する連携促進 ① 茨城・福島の農産物などを販売するイベントの開催に関する連携・支援 ② 茨城・福島の農産物などの定期的な販売ルートづくり ③ 茨城・福島の農産物などのイメージアップに関する連携	①福島・茨城の民間協力の推進を目的としたホープ常磐プロジェクトを立ち上げ、企業や組合、NPOとの連携のもと募金活動を実施しました。 ②茨城県社会福祉協議会、茨城県、茨城交通、関東鉄道バス、パルシステム茨城、NPO法人 ウィラブ北茨城、茨城県生協連合会、つくば市民大学等と連携してボランティア・バスのコーディネート、救援物資の輸送活動、炊き出し活動を実施しました。また、大学との連携により学生生の支援活動もサポートしました。 ③コモンズ内に多くの市民による災害ボランティア・ネットワーク「ホープいばらき」が結成され、有償事務局ボランティアによる大学研究室や行政等とのコーディネート、ネットワーキングにより放射線学習会、除染活動や福島からの県内避難者支援活動(避難者茶話会、相談会、物資配布会)が展開されました。 ④コモンズのいわき事務所を設置、その常駐スタッフのネットワーキングによりいわき市内の避難者、支援者(支援団体)の横のつながりを強化し、同時に仮設住宅やみなし仮設での見守り活動も実施しました。 ⑤東京の中間支援団体「ソーシャルビジネス・パートナーズ」との連携により復興に向けた市民出資によるファンドづくりに向けて活動を行ってきました。そのプロセスで復興事業案件を持つ団体や個人へのハンズオン支援を行い、同時に常磐地域での一体的なコミュニティ・ビジネス支援等の仕組みづくり、ネットワークづくりを目指しました。 ⑥パルシステム茨城と「セカンドリーグ茨城」立ち上げに向けて、協働で北茨城市の雇用促進住宅有志によるコミュニティ・カフェづくりに協力しました。 ⑦3.11を教訓に原子力災害等を含めた災害時での災害時要援護者対策について、茨城 大学地域総合研究所の教員や現場の福祉系NPOメンバーとの連携により調査や情報交換会、研修会を実施しその内容を報告書にまとめました。	①企業による助成金も含めた多様なセクターの協力によりホープ常磐募金には 11,117,705 円の資金が集まりました。また、「ホープ常磐」webサイトも立ち上がりエリアやセクターを超えた助け合いのネットワーク推進を目指すことができました。 ②救援物資活動、ボランティア・バス、炊き出し活動、足湯活動など延べ 1,000 名を超える支援活動をコーディネートしました。また、流通経済大学の大学院の学生さんが中心となり、屋外活動が制限されている福島の子どもたちのスポーツ活動等の支援を行うNPO法人SUCCESSの設立、活動支援も行いました。 ③茶話会、相談会、物資配布会等の実績が追い風となり今年度の県内「福島等の避難者向けの情報・交流センター(仮)」設置へと結びつきました。また、子どもたちの放射線被害防止を目的とする県内のママさん団体ネットワーク結成を支援しています。 ④いわき事務所を拠点にしたネットワークが、日本NPOセンターが中心となる全国の中間支援団体による各地域の復興に向けた活動基盤整備の動きへと活きてきました。 ⑤茨城県等の行政、常陽地域研究センターのようなシンクタンク、中央労金などの金融機関、商工会議所、茨城県生活協同連合会、パルシステム茨城、NPO法人 いわきNPOセンター、NPO法人 うつくしまネットワーク等による常磐地域が一体となって復興事業案件を支援する「常磐地域復興支援プラットフォーム」円卓会議が開催されました。 ⑥継続的に孤立防止や食や健康、生きがいをづくりを目指す、事業型コミュニティ立ち上げによる一つの被災地復興モデルにつながる「北茨城あすなる会」が立ち上がり、今後、このモデルの各被災地への普及が期待されます。 ⑦報告書として『災害時の障がい者・高齢者への対応に関するアンケート結果』と『災害時要援護者の避難を考える～東日本大震災を教訓に茨城と福島より～』を完成させ教訓を全国に発信していきます。	上記の活動は新聞やテレビ等にも取り上げられましたが、とりわけ茨城新聞との協働による新聞1面を使った「ホープ常磐新聞」によってコモンズの被災地支援活動が大きく取り上げられました。 また、被災地支援をミッションに市民一般や組合、企業、行政等とのネットワークも一層広がり深まりを見せ、寄付やボランティアに支えられる市民参加による市民活動、社会貢献活動の意義が大きく認知されることになりました。	被災地の生活再建や復興のためには多様なセクターによる円卓会議の継続的・効果的・弾力的な運営が課題です。また、全国レベルでのNPO中間支援ネットワークやそのノウハウを総動員していく必要があります。 また、出身地域や生活状況等で多様なバックグラウンドを持つ福島避難者へのサポートの私たちも複雑であり、息の長い活動が求められます。寄り添う姿勢を基本としながらも、ソーシャルワーク的なスキルと支援団体、支援者、支援機関とのネットワークもより密接かつ機能させていくものにしなければなりません。「ホープ常磐」webサイトのさらなる活用も課題になります。 3.11以降の市民の動きを単なる流行に終わらせるのではなく、復興に向けた継続的な支援活動にはもちろん、多様で複雑化していく社会課題への市民による継続的な課題解決活動(市民活動)へと結び付けていく工夫も大事になります。

事業名	担当者	昨年度定時総会時点での事業計画	評価項目			
			プロセス (市民や他の組織が事業へ参画するようになったか)	結果 (2012年度以降の展開や財源へのインパクト含む)	外部への情報発信とその反響	残された課題
茨城県外国人就労・就学サポートセンター	横田	・就労支援:定住希望の外国人の職域を広げるため、安定した仕事で求人もある介護職場に就職できるよう、訓練とルートづくりを行う。 ・就職や処遇に改善にとっては、運転免許や各種資格の取得も課題となるため、自動車学校などと連携して資格取得支援を行う。 ・就学支援:公立の小中学校へ日本語がまだ通じない外国人児童生徒がスムーズに入学、編入できるよう教育委員会と連携してプレスクールを行い定着させる。 ・高校進学希望の外国人生徒を支援する体制を地域につくるべく、アフタースクールを行う。 ・県のサポート事業が終了した後も、相談事業などを継続できるようブラジル人当事者を主体にしたNPOの設立を支援する。 ・外国人住民が多い自治体において、通訳設置や文書の多言語化など必要な対応がなされるよう自治体への働きかけを行う。	・介護就労については、県の老人福祉施設協議会と外国人の介護労働に関するフォーラムを共催するなど、連携を深めることができ、ヘルパー2級講座においても施設関係者の協力を得ることができた。 ・就学支援に関しては、プレスクールやアフタースクールに地域のボランティアが関わり事業を展開できたほか、常総市教育委員会はじめ教育関連行政とのかかわりが深まった。 ・常総市や県内の自治体とも情報交換の場を通じて、災害時の対応などについて検討することができた。	・県の職業能力開発課が企画した外国人介護ヘルパー養成事業を受託し、11名(4か国)の受講生が無事ヘルパー2級の資格を得ることができた。また施設実習などを通じて地域の福祉施設に外国人介護人材の可能性をアピールすることができ、求人が増えた。 ・プレスクールは、小学校からも有意義との評価があり、教育委員会からの紹介が増えている。アフタースクールもボランティアの活躍もあり、高校進学を実現させることができた。 ・外国人当事者によるNPO法人設立支援は、11月にNPO法人コムニダージの設立総会がなされ、運営支援と事業面での連携を進めることができた。 ・運転免許取得に関する取組は、具体化させることができなかった。	・ヘルパー講座では、受講生の確保が最大の課題だったので介護の仕事を紹介する広報に力を入れた。外国人介護ヘルパー養成事業は、NHKや新聞でも多く取り上げられ介護関係者はじめ広い層にインパクトを与えることができた。 ・就学支援や自助組織の立ち上げに関しては情報発信はやや弱かった。	茨城県外国人就労・就学サポート事業は、23年度までの予定が1年延長された。しかし25年度からは県の委託がなくなるため、これまで培ってきた相談ノウハウや就学・就労支援事業を地域にどう残していくかが課題。就学については、学習支援ボランティアを養成して学校などに派遣できる仕組みを作ることと、地元自治体が事業を継承できるよう働きかける必要がある。就労に関しては介護研修を安定軌道に乗せることと就職率を上げることが課題。さらに、労災の多発と、県外への人材流出という問題に対処するために、地域の企業や労働行政と連携して、外国人人材の確保定着のための方策を検討実施していく必要がある。昨年度誕生した自助組織の自立化支援と共に、コモンズとしても、多文化共生事業を継続発展させていけるよう、新たな財源を確保することが課題。

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-1	講師派遣	日本NPOセンターの初任者研修での講義	7月9日（土）	BumB 東京スポーツ文化館	約40名
		特殊教育に関する研究集会での助言者	7月29日（金）～30日（土）	オークラフロンティアホテルつくば	100名
		水戸養護学校ボランティアスクールで講演	8月12日（金）	イオンモール水戸内原	40名
		認定NPO法人セミナーでの講義	9月9日（金）	福島県郡山市	40名
		認定NPO法人セミナーでの講義	10月19日（水）	神戸	30名
		ハーモニーフライト研修でNPOについての講義	11月6日（日）	レイクエコー	30名
		第20回全国ボランティア・フェスティバルTOKYOコーディネーターを務めた	11月13日（日）	青山学院大学	16名
		常磐大学での講義	11月17日（木）	常磐大学	100名
		柏市市民活動講座『お金の集まる「市民活動」について考えよう』での講義	11月19日（土）	柏の葉アーバンデザインセンター	30名
		福島県内の障害者施設協議会の研修で認定NPO法人の講義	11月27日（日）	郡山市	30名
		常磐大学での茨城の市民活動に関する事例発表	12月14日（水）	常磐大学	
		静岡県ふじのくにNPO活動基金中間支援人材育成セミナーでの講義	12月17日（土） 1月14日（土） 2月11日（土）	静岡市清水市市民活動センター、藤枝市生涯学習センター、静岡市番町市民活動センター	計60名
		笠間市「新しい公共の担い手としてのNPOと協働のまちづくり」での講義	1月25日（水）	笠間市友部公民館	70名
		中間支援組織向け研修で講義	2月10日（金）	松山市	15名
		筑波大学「NPO起業セミナー」での講義	2月16日（木）	筑波大学	15名
		群馬県「組織の信頼性を高め外部との協力を築く」講演会での講義	2月18日（土）	前橋市市民活動支援センター	25名
		ファンドレイズちばで寄付募集の事例発表	2月25日（土）	千葉市ビジネス支援センター、千葉県自治会館	15名
		関東ESD学びあいフォーラムで中間支援の事例発表	2月27日（月）	国立オリンピック記念青少年総合センター	40名
5-1	新しい公共支援事業のための情報収集・発信・提言	茨城県新しい公共支援事業運営委員会での提言	4月21日（木） 5月19日（木） 6月7日（火） 7月11日（月） 9月1日（木） 10月4日（火） 1月12日（木） 3月20日（水） 3月29日（木）	茨城県立歴史館、茨城県庁、茨城県水戸合同庁舎	
		千葉県新しい公共支援事業運営委員会での提言	4月27日（水） 8月3日（水） 12月26日（月） 2月16日（木） 3月27日（火）	千葉市ビジネス支援センター、千葉県自治会館	
		「新しい公共支援事業」への事業提案のコツ説明会開催	6月14日（火） 6月23日（木）	水戸市福祉ボランティア会館、つくば市民大学	約30名
		新しい公共支援事業を考える会議への出席	8月16日（火）		
		茨城県議会での傍聴による情報収集	9月20日（火） 12月9日（金） 12月20日（火）	茨城県議会議事堂	
		ラジオ番組での新しい公共施策についての解説	10月17日（月） 2月13日（月）	茨城放送	

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
		新しい公共支援事業についての緊急 NPO集会の開催	10月24日（月） 10月26日（水） 10月28日（金） 11月2日（水） 11月9日（水）	茨城県労働福祉会館、つくば市民大学、鹿嶋市まちづくり市民センター、県北生涯学習センター、県西生涯学習センター	約60名
		茨城NPOネットワーク会議及び交流会開催	1月24日（火）	水戸プリンスホテル	約25名
5-1	NPO活動・協働 推進体制強化に関する 請願	民主党県連への政策要望	6月28日（火） 9月5日（月） 11月25日（金）	民主党県連本部	
5-1	NPO法改正、認定 NPO法人制度に関する 情報収集・提言	NPO／NGOに関する税・法人制度改革連絡会の総会に出席 「今国会で新寄付税制&NPO法改正の実現を！5・25緊急院内集会」への出席	5月25日（水） 5月25日（水）		
5-1	県・市町村職員向け セミナー	新しい公共支援事業の一環として、 行政職員に対する市民活動・協働推進のための研修を開催	11月29日（火） 3月21日（水）	茨城県水戸合同庁舎	74名
5-1	土浦市との協働事業	土浦市NPO法人情報交換会	12月20日（火）	土浦市立一中地区公民館	12名
		『みんなで協働のまちづくりシンポジウム』の開催 講師：田尻 佳史さん（認定NPO法人 日本NPOセンター 常務理事・事務局長）	1月21日（土）	土浦市民会館	約400名
		「地域づくりを考えよう！」ワークショップの開催 第1回：身の回りの気になること、ご近所の課題をみつけよう 第2回：気になる課題に関する活動事例から学ぼう 第3回：課題解決につながる活動を企画してみよう 第4回：活動の輪を広げ、協働する方法を学ぼう	11月13日（日） 11月27日（日） 12月11日（日） 12月18日（日） 12月25日（日）	土浦市立新治地区公民館、土浦市立一中地区公民館	105名
		まちづくり市民会議専門部会ワークショップの開催 第1回：各地区市民委員会専門部の課題をみつけよう 第2回：各地区市民委員会・まちづくり市民会議の課題と解決方法をみつけよう 第3回：課題解決につながる活動を考えて、発表しよう	2月25日（土） 2月28日（火） 3月10日（土）	土浦市役所	75名
		NPO法人の運営力向上講座の開催 第1回：NPOとは何か、その可能性を探る 第2回：情報を公開しよう 第3回：資金調達力を鍛えよう 第4回：新しい公共の担い手としてのNPOと協働のまちづくり	2月14日（火） 2月21日（火） 2月28日（火） 3月6日（火）	土浦市一中地区公民館	138名
5-1	茨城市民活動支援 機関情報交換会	県内の市民活動センター運営組織を 招いての情報交換、学びの場を開催	2月28日（火）	茨城県労働福祉会館	13名

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-1	企業・生協と NPOの協働促進	いばらきコープ職員向けボランティア講習会での講師	6月10日（金）	いばらきコープ本部	
		「JT青少年育成に関するNPO助成事業」活動成果発表会への出席	6月15日（水）	JT水戸支店	
		パルシステム茨城くらし活動助成基金運営委員会出席	6月15日（水） 9月1日（木） 9月29日（木）	茨城県労働福祉会館	
		セカンドリーグ茨城設立準備のための打ち合わせ、研修出席	8月4日（木） 9月10日（土） 10月3日（月） 10月13日（木） 10月25日（火） 11月11日（金） 11月14日（月） 2月8日（水） 2月18日（土） 3月3日（土）	茨城県労働福祉会館、パルシステム連合会	
		竹田薬品「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」助成事業運営会議での提言	10月4日（火） 1月23日（月）		
		エコーいばらき選考会への参画	1月27日（金）		
		茨城県社会福祉協議会ボランティア基金小委員会への出席	5月26日（木） 7月11日（月）	茨城県立健康プラザ	
5-1	助成機関への協力	「中央ろうきん社会貢献基金」贈呈式へ出席	5月27日（金）	中央ろうきん本店	
5-1	市民活動に関する 情報収集	新聞切抜隊（市民活動に関する新聞紙面スクラップ）	8月9日（火） 8月30日（火） 10月25日（火） 12月7日（水） 12月21日（水） 1月18日（水）	茨城県労働福祉会館	18名
5-1	平成24年度NPO 関連予算案の情報 収集	民主党のNPOヒアリングに参加	2月1日（水）	民主党本部	
5-1	市民活動希望者への 情報提供	インターン希望者、大学生などへの説明	8月24日（水） 12月1日（木）	茨城県労働福祉会館	5名
5-1	市民活動情報ポータル・サイトの推進	地域・テーマ公益ポータルプロジェクト関東ブロック会議での事例発表	5月13日（金）	八王子	約30名
		CANPAN・NPOフォーラム「情報開示と発信で資源を循環させる ～復興支援～」への出席と事例発表	11月12日（土）	日本財団ビル	約80名
5-1	エクセレント NPOの普及	エクセレントNPO運営会議出席	9月29日（木） 11月25日（金） 12月19日（月） 12月12日（木）	東京	
5-1	日本NPOセンターの運営参画	理事会での提言	11月21日（月） 1月6日（金）・7日（土） 3月29日（木）	日本NPOセンター	
		タスクフォース会議での提言	8月10日（水） 10月3日（月）～4日（火）	日本NPOセンター	
		CEO会議への参加	6月6日（月）～7日（火） 12月2日（金）	日本NPOセンター	
5-1	茨城県社会福祉協議会のサロン普及活動支援	はんどちゃん運動推進委員会での提言	11月10日（木）	茨城県総合福祉会館	
		はんどちゃんシンポジウムへの出席	1月27日（金）	笠間市パークスガーデンプレイス	
		はんどちゃんサロン助成金審査会での事業審査	3月16日（金）	茨城県市町村会館	

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-1	男女共同参画チャレンジ支援事業ネットワーク連絡会議	茨城県主催の同会議での提言	11月11日（金）	女性プラザ	約20名
5-1	エネルギー問題講演会	茨城県生活協同組合連合会などとともにエネルギー問題講演会「福島第一原発事故後、私たちが選択すべきエネルギーはなにか？」を開催 講師：北澤 宏一さん（独立行政法人科学技術振興機構 顧問、東京大学名誉教授、福島原発事故独立検証委員会 委員長）	3月28日（水）	つくば国際会議場	約150名
5-2	地域円卓会議の開催	実行委員会及び各テーマの協議開催 テーマ1：茨城の農業の支援と新たな仕事づくり テーマ3：交通困難者の外出・買い物支援 ※テーマ2は市民ファンド検討会へ移行	7月4日（月） 10月17日（月） 11月16日（水） 12月22日（木） 2月2日（木）	茨城県労働福祉会館、茨城県産業会館	約40名
5-2	地域円卓会議の普及	学習会：「マルチステークホルダー・プロセスについて」開催	9月28日（水）	八千代市役所	22名
		「NPO活動推進自治体フォーラム全国大会 in 奈良」での講演	11月25日（金）	なら100年会館	50名
		関東ESDコーディネーターのあり方検討会への出席	1月23日（月）	環境パートナーシップオフィス	
		地域円卓会議に関する寄稿			
5-2	新しい公共フォーラム	実行委員会の開催	10月24日（月） 12月7日（水） 2月1日（水）	茨城県労働福祉会館	20名
		新しい公共フォーラムの開催	2月20日（月）	茨城県立県民文化センター	47名
5-2	社会的責任に関する円卓会議	社会的責任に関する円卓会議に参画	8月31日（水） 9月14日（水） 9月26日（月） 3月28日（水）		
5-2	冊子『茨城のNPO』作成	茨城県新しい公共支援事業の一環として、県民向けのNPO紹介冊子を作成		茨城県労働福祉会館	
5-2	外国人就労・就学支援事業	NPO法人 コミュニダージ設立総会に出席	11月20日（日）	茨城県外国人就労・就学サポートセンター	
5-2	フードバンク茨城運営支援	役員会、運営委員会、部会などへの出席	5月9日（月） 5月30日（月） 6月2日（木） 6月6日（月） 8月18日（木） 8月31日（水） 9月5日（月） 9月8日（木） 9月14日（水） 9月15日（木） 9月29日（木） 10月20日（木） 11月17日（木） 12月15日（木） 1月7日（土） 1月22日（日） 1月31日（火） 2月4日（土） 3月11日（日） 3月15日（木）	パルシステム茨城つくば館、茨城県労働福祉会館、フードバンク茨城事務所、NPO法人 市民支援センターともべ事務所、つくば国際会議場	

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-2	全 国 民 間 ボ ラ ン ティア市民活動推 進者企画戦略会議 (民ボラ)	第29回民ボラへの参画	6月18日 (土) ・ 19日 (日)		
		第30回民ボラ実行委員会への出席	12月8日 (木) 1月31日 (火)	飯田橋セントラルプ ラザ、東京ボラン ティア・市民活動セ ンター	
5-2	水戸市中心市街地 活性化協議会	水戸市中心市街地活性化協議会福利 厚生部会に委員として参画	6月14日 (火) 8月5日 (金) 11月11日 (金) 3月8日 (木)	水戸商工会議所	
5-2	防災ボランティア のネットワーク促 進	茨城県防災ボランティアネットワー クの会議出席	7月8日 (金) 9月1日 (木) 11月19日 (土) 12月19日 (月)	茨城県立青少年会館 など	
5-3	NPO設立相談	NPO法人設立に関する相談対応	12月12日 (月) 1月11日 (水) 1月16日 (月) 2月15日 (水) 3月16日 (金)	茨城県労働福祉会館 ほか	
5-3	NPO運営相談	出張パンフレット作成講座開催	5月31日 (火)	神栖ボランティアセ ンター	5名
		助成金申請相談	7月4日 (月) 7月5日 (火) 7月8日 (金) 7月19日 (火)	茨 城 県 労 働 福 祉 会 館、水戸市内の喫茶 店	7名
		電話での相談対応	随時		
5-3	NPOセミナー	新しい公共支援事業の一環として下 記内容で開催 第1回：資金調達力を鍛えよう 第2回：広報力を鍛えよう 第3回：企画力・運営力を鍛えよう 第4回：会計力を鍛えよう	11月30日 (水) 12月7日 (水) 12月14日 (水) 12月21日 (水)	茨城県労働福祉会館	61名
5-3	取手市NPO講座	第1回：安定した活動ができる組織基 盤を作ろう 第2回：充実した事業展開、活動の活 性化を図ろう 第3回：参加者が集まる企画をつくら う	10月24日 (月) 11月1日 (火) 11月7日 (月)	福祉交流センター 取手庁舎議会棟大会 議室	
5-3	NPOマナビヤ	NPOと企業、労働界、行政の間の協 働を活性化させていくキーパーソン を育成するための講座と実践	4月18日 (月) 9月26日 (月) 10月11日 (火) 11月8日 (火) 11月29日 (火) 12月6日 (火) 1月24日 (火) 2月14日 (火) ・ 15日 (水) 3月21日 (水)	茨 城 県 労 働 福 祉 会 館、つくば市民大学	約50名
5-3	NPO 法人 会 計 基 準の普及	水戸市のNPO法人会計基準学習会開 催	8月23日 (火)	水 戸 市 福 祉 ボ ラ ン ティア会館	25名
		NPO法人会計基準協議会の暫定事務 局運営	10月24日 (月) 11月7日 (月) 12月1日 (木) 12月26日 (月) 1月17日 (火) 1月30日 (月) 3月9日 (金) 3月30日 (金)	日本NPOセンターほ か	

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-3	社会的起業支援	ビジネスプラン作成のための講座開催	6月3日（金）・4日（土） 9月21日（水）	土浦市立一中地区公民館、千葉県柏市	25名
		グラウンドワーク・インターンシップ事業首都圏ブロック会議への出席	7月1日（金） 12月21日（水）	鎌ヶ谷市 中央公民館	
		インターン受入れ希望団体対象の説明会の開催	7月29日（金）	つくば市民大学	10名
		インターン受入れ希望団体への訪問	8月18日（木） 8月19日（金） 10月24日（月）	阿見町、東海村、日立市	
5-3	SAVE JAPAN プロジェクト	事業説明会への参加	4月8日（金） 7月27日（水） 2月3日（金）	新東京カンファレンスコーナー	
		企画打ち合わせ	6月9日（木） 8月1日（月） 11月2日（水） 3月14日（水）	水戸森林公園 森の交流センター、逆川を愛する会代表の自宅、コモンズ水戸事務所、東海村中丸コミュニティセンター	5名
		水戸の逆川でのサケの遡上観察会、サケの採卵活動体験開催	11月19日（土） 11月23日（祝） 12月18日（土）	水戸市 逆川緑地公園 ふれあい広場	約100名
		逆川まちあるきマップ作成	1月15日（日） 2月24日（金） 3月14日（水） 3月29日（木）	コモンズ水戸事務所、大富印刷事務所ほか	5名
5-3	市民活動に関するイベント運営支援	NPO法人 青少年の自立を支える会シオンの宿泊形式の学習イベント運営支援	12月27日（火）・28日（水）	レイクエコー	25名
5-3	自治体の協働事業について委員として助言	常総市市民協働マニュアル策定委員会に委員長として提言	5月18日（水） 6月21日（火） 7月4日（月） 7月27日（火） 8月29日（月） 9月27日（火） 10月12日（水） 11月10日（木） 12月12日（月）	常総市役所	
		水戸市市民懇話会に委員として提言	5月27日（金） 8月1日（月） 12月5日（月） 3月2日（金）	三の丸市民センター、交流サロニー いばらき、みと文化交流 交流ふらぎ、水戸市 国際交流センター	
5-4	市民ファンドの研究・設立準備	市民ファンド推進連絡会総会への出席	6月30日（木）	在日本韓国YMCAアジア青少年センター	
		大阪コミュニティ財団への訪問	8月16日（火）	大阪コミュニティ財団	
		ファンドレイジング・日本 2012への参加	2月3日（金）・4日（土）・5日（日）	日本財団ビル	
		茨城NPO応援ファンド（仮）設立準備検討会の開催	10月11日（火） 11月18日（金） 12月16日（金） 1月24日（火） 2月28日（火） 3月8日（木）	茨城県労働福祉会館、茨城県産業会館	68名
		『みんなでつくろう「いばらき未来基金」（仮称）公開検討会』の開催	3月23日（金）	茨城県産業会館	35名
		群馬NPO協議会に対する市民ファンド設立準備過程の説明	3月13日（火）	茨城県労働福祉会館	15名

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-4	『寄付社会とNPO』講座	『ファンドレイジングに取り組もう』 講師：鶴尾 雅隆さん（NPO法人 日本ファンドレイジング協会 常務理事）	5月11日（水）	つくば市民大学	10名
		『寄付税制と認定NPO』 講師：関口 宏聡さん（NPO法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 プログラムディレクター）	10月4日（火）	つくば市民大学	10名
		『NPOの組織評価向上』 講師：片山 信彦さん（「エクセレントNPO」をめざそう市民会議 理事、認定NPO法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 常務理事・事務局長）	10月25日（火）	つくば市民大学	12名
		『寄付集めに積極的な団体からコツを学ぼう』 講師： 及川 ひろみさん（認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会 理事長） 川上 郁子さん（NPO法人 ポチたま会 代表理事） 伊東 将さん（NPO法人 わたつみ友の会 理事長） 河辺 信行さん（NPO法人 わたつみ友の会 事務局長）	11月 8日（火）	つくば市民大学	10名
		『企業とNPOによる協働マーケティング』 講師：野村 尚克さん（Causebrand Lab 代表）	11月22日（火）	つくば市民大学	10名
		『今後のNPO戦略』 講師：横田 能洋（認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ）	12月6日（火）	つくば市民大学	8名
5-5	東日本大震災被災者支援に関する情報収集・発信	ウェブサイト、ブログ、ツイッターなどでの情報発信			
		「今後の震災復興を考える市民集会」開催	5月28日（土）	茨城県労働福祉会館	約30名
		ROADプロジェクト情報交換会への出席	7月20日（水） 9月28日（水） 11月9日（水）	福島県耶麻郡猪苗代町、岩手県花巻市	
		第14回全国ボランティア学習研究フォーラム 茨城・水戸大会への出席	11月20日（日）	常磐大学	
		ホープいばらき活動報告会への出席	11月26日（土）	茨城県労働福祉会館	
		パルシステム連合会との協働で東日本大震災関連シンポジウムを開催 シンポジウム「被災地のコミュニティ再生を応援しよう」 ①主催者あいさつ ②事例報告 ③アドバイザー質疑応答・まとめ	3月3日（土）	茨城県労働福祉会館	約20名
		パルシステム茨城と協働で東日本大震災関連シンポジウムを開催 「被災地のいまとこれから」 ①開催のご挨拶 ②パルシステム茨城の被災地支援活動の取り組み ③事例報告 ④パネルディスカッション	3月29日（木）	茨城県総合福祉会館	約30名

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-5	被災者の自助組織 運営支援	コミュニティ・ビジネス講座の開催	9月7日（水）	北茨城市内の雇用促進住宅の集会所	10名
		運営支援の相談対応	9月30日（金） 10月5日（水） 11月2日（水） 11月16日（水） 11月24日（木） 11月30日（水） 2月8日（水） 2月17日（金） 3月8日（木） 3月24日（土）	北茨城市内の雇用促進住宅の集会所、茨城県労働福祉会館	
5-5	被災者の情報発信 支援	「神戸の吉富志津代さんを囲む会」開催 （いわき市民によるラジオを通じた情報発信促進のための講座・ワークショップ） 講師：吉富 志津代さん（NPO法人多言語センターFACIL 代表）	11月20日（日）・21日（月）	いわき芸術文化交流館アリオス	約20名
5-5	被災者支援団体設立支援	NPO法人 SUCCESSの設立支援	7月25日法人設立総会、いわき市訪問、いわきの中学生の水泳合宿コーディネーター	流通経済大学	10名
5-5	被災者支援ネットワーク会議	県内被災者支援団体の情報交換のためのネットワーク会議開催	10月20日（木）	茨城県JA会館	15名
5-5	被災者支援ボランティアの育成	筑波大学の学生ボランティアに対する説明会	9月30日（金）		
		「復興と災害ボランティア ～新たなステージでの役割を考える～」講演会開催 講師：村井 雅清さん（NPO法人 被災地NGO協働センター 代表）	10月20日（木）	茨城県JA会館	約20名
5-5	被災者支援活動のための募金活動	ウェブサイト、街頭などでの募金の呼びかけ	随時		
5-5	救援物資の配布	いわき、北茨城の被災者や、県北、県南の原発事故避難者への救援物資配布	3月11日（金）～4月19日（日） 1月29日（日） 2月19日（日）	北茨城、いわき、日立 塙山交流センター、つくばサイエンス・インフォメーションセンター ほか	約1,000名
5-5	津波被災地の片づけボランティア	ボランティア・バス運行による福島県いわき市でのかたづけボランティア活動	4月～7月にかけてほぼ毎週末（約20台）		約300名
5-5	復興支援コミュニティファンドの組成事業	投資事業有限責任組合をシードファンドとして立ち上げたのち、個々の復興事業ごとに「志ある投資」を匿名組合出資や疑似私募債により募集する仕組みを構築する。	9月12日（月） 10月18日（火） 11月15日（火） 12月5日（月） 12月15日（木） 12月19日（月） 1月17日（火）	茨城県労働福祉会館 ほか	
		常磐地域復興支援プラットフォーム構築円卓会議の開催	2月23日（木）	茨城県労働福祉会館	10名
5-5	被災地の市民活動支援	日本NPOセンターのキャパシティ・ビルディング研修へ参加	2月8日（水）・9日（木） 3月13日（火）・14日（水）		

2011年度活動実績

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011年4月1日から2012年3月31日まで

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数
5-5	移動困難者を原子力災害から救う事業	企画会議の開催	7月26日（火） 10月18日（火） 1月6日（金） 1月13日（金） 3月9日（金）	茨城大学	
		原子力災害のリスクに対して移動困難者に適切に情報を提供し、避難できる福祉人材と支援ネットワークをつくることを目的に、施設・移動サービススタッフと当事者向け災害訓練と災害時対応に関する研修会を開催	8月30日（火） 11月28日（月） 2月10日（金） 3月7日（水）	取手市福祉交流センター 茨城県労働福祉会館 多賀市民会館	
		講演会の開催	3月17日（土）	茨城県社会福祉協議会	
5-5	復興支援バスツアー in いわき	被災地いわきの復興状況を市民に知ってもらうためのツアー開催	11月3日（祝）	いわき	約20名
5-5	やっかいな放射線講習会	放射線に関する市民向け講習会を開催	7月3日（日） 8月23日（火） 9月16日（金）	茨城県総合福祉会館、水戸市福祉ボランティア会館	
5-5	チェルノブイリ・シンポジウムの開催準備	チェルノブイリの経験から福島原発事故について考えるシンポジウムの開催準備	2月6日（月） 3月5日（月） 3月19日（月）	ふれ愛ひろば ほか	
5-6	外国人介護就労セミナー	在住日系人に対する介護職への就職支援セミナーの開催	10月28日（金）・29日（土） 1月～	つくば市民大学 茨城県外国人就労・就学サポートセンター	
5-7	理事会	理事会の開催	4月23日（土）～24日（日） 5月8日（日） 6月26日（日） 7月23日（土） 9月3日（土） 10月9日（日） 12月7日（日）	セミナーハウス 常総、茨城県労働福祉会館、つくば市民大学、茨城大学地域総合研究所	のべ65名
5-7	定時総会	定時総会の開催 1. 2010年度事業報告および収支決算報告の承認を求める件 2. 2011年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する件 3. 役員改選に関する件	5月28日（土）	茨城県労働福祉会館	74名
	臨時総会	臨時総会の開催 1. 定款変更（案）の承認を求める件 2. 2011年度事業計画及び事業予算の一部変更の承認を求める件 3. 2012年度事業計画案及び事業予算案の承認を求める件	8月12日（金）	茨城県労働福祉会館	83名
5-7	コモンズの運営体制を検討する会議	有志の理事とともに、コモンズの運営体制を再検討した	1月19日（木） 2月6日（月） 3月5日（月） 3月22日（木）	つくば市民大学	10名

会務に関する報告

(1) 第1回理事会

日時：2011年4月23日（土）午後1時～24日（日）午後0時

会場：セミナーハウス常総

出席人数：9名

【報告事項】

1. 被災者を支える活動
2. 2011年度事業構想

【協議事項】

1. 新しい公共支援事業に関する説明と方向性
2. 福祉医療機構の『移動困難者を原子力災害から救う事業』についての承認
3. オンライン募金システム『Bokinchan.com』の採用
4. コモンズとしての個人を対象とした支援の方向性の是非
5. 今年度の事業計画確認と担当理事導入の是非

(2) 第2回理事会

日時：2011年5月8日（日）午後1時～5時30分

会場：つくば市民大学

出席人数：9名

【報告・協議事項】

1. 2010年度事業の総括
2. 震災対応の総括
3. 2010年度決算
4. 今年度事業の担当理事と最初に行うべきことの確認
5. 国土交通省事業の復興支援コミュニティ・ファンドの助成事業の採択
6. 今年度事業予算のポイントについての確認と意見交換
7. 役員選出についての意見交換
8. 事務局体制についての検討

(3) 定時総会

日時：2011年5月28日（土）午後1時半～2時半

会場：茨城県労働福祉会館

出席人数：74名（当日出席者36名、委任状提出者38名、書面評決者30名）

【報告・協議事項】

1. 2010年度事業報告および収支決算報告の承認を求める件
2. 2011年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する件
3. 役員改選に関する件

(4) 第3回理事会

日時：2011年6月26日（日）午前10時～12時

会場：つくば市民大学

出席人数：9名

【報告事項】

1. 災害復興支援事業の状況
2. 寄付金受入れ、助成金などの採択状況
3. 新しい公共支援事業の状況とNPO向け説明会の結果
4. NPO法改正と税制改正

【協議事項】

1. いわき市における活動拠点の設置
2. 震災対応などに伴うスタッフ体制強化と新規雇用
3. 新しい公共支援事業への応募

(5) 第4回理事会

日時：2011年7月23日（土）午前10時～12時

会場：茨城大学地域総合研究所3階会議室

出席人数：10名

【報告事項】

1. 第一四半期決算
2. 新しい公共支援事業へのプロポーザル申請
3. 災害支援活動の状況
4. コモンズの今年度スケジュール

【協議事項】

1. 外国人就労支援事業における介護研修実施に伴う定款変更と臨時総会開催
2. 県のNPO担当課増強に関する要望活動とNPO訪問の計画

(6) 臨時総会

日時：2011年8月12日（金）午後6時～8時

場所：茨城県労働福祉会館

参加者数：83名（当日出席者16名、委任状提出者67名、書面評決者62名）

【協議事項】

1. 定款変更（案）の承認を求める件
2. 2011年度事業計画及び事業予算の一部変更の承認を求める件
3. 2012年度事業計画案及び事業予算案の承認を求める件

(7) 第5回理事会

日時：2011年9月3日（土）午前10時～12時

会場：つくば市民大学

出席人数：10 名

【報告事項】

1. 被災者支援活動の進捗状況
2. 新しい公共支援事業の進捗状況

【協議事項】

1. 茨城県の NPO 活動・協議推進体制強化に関する要望活動の進め方
2. コモンズの会員参画型体制の強化に関する方向性

(8) 第 6 回理事会

日時：2011 年 10 月 9 日（日）午前 10 時～12 時

会場：茨城県労働福祉会館

出席人数：9 名

【報告事項】

1. 新しい公共支援事業及び運営委員会での議論の進捗状況
2. 被災地支援活動の進捗状況
3. 上半期決算
4. その他

【協議事項】

1. 県内各地緊急 NPO 集会の役割分担と運動目標
2. コモンズが実施する新しい公共支援事業における役割分担
3. 育児介護休暇に関する規定整備の承認
4. エクセレント NPO 評価基準での自己診断の実施

(9) 第 7 回理事会

日時：2011 年 12 月 7 日（日）午前 10 時～12 時

会場：つくば市民大学

出席人数：9 名

【報告事項】

1. 今年度新しい公共支援事業の各基盤整備事業の進捗状況及び来年度予算検討の状況
2. 県議会への請願の進捗状況
3. 被災地支援に関わる活動進捗状況
4. 多文化共生事業の進捗状況
5. SAVE JAPAN プロジェクトの進捗状況と来年度事業
6. 今年度収支見込み

【協議事項】

1. 来年 4 月の改正 NPO 法施行に向けた今後のコモンズの取り組み方針の承認
2. 茨城県労働福祉基金協会へのつなぎ融資の申請の承認

茨城 NPO センター・コモンズ 会員内訳

	2010 年総会時点	2011 年総会時点	2012 年総会時点
個人正会員	97	100	91
個人賛助会員	15	13	14
個人購読会員	12	12	9
団体正会員	72	76	67
団体賛助会員	9	11	10
団体購読会員	3	3	3
合計	208	215	194

ボランティア活動記録

2011 年度は未曾有の東日本大震災が起こり、直後からの救援物資の仕分け作業や受付や、その後の膨大な被災地、被災者支援活動（詳細は 1 号議案をご覧ください）にも多様な方々が参加され、現在の活動へと引き継がれております。ボランティア活動参加者数は、延べ約 **1,500** 名を超えます。被災地に想いを寄せ、温かい心遣いで支えてくださった方々を全て網羅することはできませんが、今回は主にご協力いただいた団体や組織、個人の皆様を以下に掲載させていただきます。

日頃より茨城 NPO センター・コモンズの活動を支えてくださる皆様も含め、改めて深く感謝と敬意を表させていただきます。

1. 被災者支援のボランティア活動にご協力いただいた皆様（順不同）

災害ボランティアネットワーク「ホープいばらき」の皆様
 がんばっぺいわきネットワークの皆様
 つくば市民大学の皆様

NPO 法人 茨城県南生活者ネットの皆様

NPO 法人 ウィラブ北茨城の皆様

NPO 法人 生活支援ネットワークこもれびの皆様

NPO 法人 つくば市民活動推進機構の皆様

NPO 法人 とちぎボランティアネットワークの皆様

NPO 法人 フードバンク茨城の皆様

NPO 法人 ペインレスメディカル茨城の皆様

NPO 法人 リヴォルヴ学校教育研究所の皆様

茨城県 生活環境部 生活文化課 県民運動推進室の皆様

法テラス茨城法律事務所の皆様

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会の皆様

社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会の皆様

社会福祉法人 東海村社会福祉協議会の皆様

一般社団法人 茨城県経営者協会の皆様

日本労働組合総連合会茨城県連合会（連合茨城）の皆様

財団法人 茨城県労働者福祉基金協会の皆様

茨城県生活協同組合連合会の皆様

生活協同組合 パルシステム茨城の皆様

茨城大学 人文学部 原口弥生研究室の皆様

常磐大学の皆様

筑波学院大学の皆様

流通経済大学の皆様

株式会社 ソノリテの皆様

いばらき新鮮組の皆様
つくばマダムの皆様
東京福島県人会の皆様

寄居新エネルギー推進クラブの皆様
財団法人 茨城県青少年協会の皆様

2. 被災者支援活動以外のコモンズの活動にもご協力いただいたボランティアの皆様（順不同）

青木 高志さん	江幡 順子さん	神長 康典さん
方喰英幸さん	寺岡 奈々さん	竹中 紀博さん
佐々木 俊明さん	江崎 礼子さん	徳田 太郎さん
清水 悦子さん	奥平 基雄さん	

本当にありがとうございました。2012 年度も引き続きご協力お願いします。

寄付者名簿（順不同・敬称略）

1. 被災者支援活動以外の寄付者名簿（順不同・敬称略）

助成金

財団法人 茨城県労働福祉基金協会 株式会社 損保ジャパン 財団法人 茨城新聞文化福祉事業団

寄付金

赤津 勝弘	江崎 礼子	高島 真澄
安久 正倫	大野 覚	水野 恵美子
井口 百合香	岡田 純	横田 能洋
植田 實	小坪 三千代	吉富 志津代

以上、**3** 団体・**12** 名の皆様より、**3,292,556** 円をいただきました。誠にありがとうございました。

2. 被災者支援活動へのご寄付

ホープ常磐募金（被災者支援活動の支援募金）にはご寄付 **10,850,107** 円、助成金 **12,503,319** 円をいただきました（2011 年度）。誠にありがとうございました。

（以下は 2011 年 3 月～2012 年 2 月）

区 分	件 数	金 額
市民	173 名	3,229,170 円
NPO	39 団体	3,851,135 円
事業者	12 団体	4,037,400 円

ホープ常磐募金にご寄付いただいた皆様

本当にありがとうございました！

50 音順（敬称略）

<団体>

有限会社 荒木屋商店
印晶堂
印南歯科医院
有限会社 エクセルホールディング
えびな書店 蝦名
蛭原接骨院
及川治療院
かいじゅうたちのいる庭ゴンゴン
上林 弥生
有限会社 学園ホーム
カットインワン
株式会社 金澤留造酒店
代表取締役 金澤 雄一郎
カフェ・ベルガ
ガレージ鈴木
キャノンマーケティング 株式会社
石田 馨
クリーニングおしやれ館
医療法人 慶誠会
庄司産婦人科小児科医院
光栄クリーニング
香福園
工房豆あじ
興民建設 株式会社
代表取締役 大槻 正
株式会社 コンピューター アンド
コンサルティング
讃岐うどん房鶴越
オガワ タカハル
サロンドリー 中山 利江
株式会社 生活構造研究所
中央ろうきん
つくばオールスターチア
松元 由紀
有限会社 電脳郷
とんきゅう 株式会社
永田屋
名古屋栄子税理士事務所
株式会社 スマジリ
のぞみが丘診療所 土岐 正喜
花小路 つくば店
生活協同組合 パルシステム茨城
ビッグドラッグ 自由ヶ丘店
日の丸石油 株式会社
ブルメリア パー 代表 土井 献

森木行政書士事務所 森木 孝司
モントシャイン
株式会社 友朋堂書店
吾妻本店、アッセ店、梅園店、桜店
吉田歯科
株式会社 ラッシュュジャパン
ロゴスウェア 株式会社
HSBC JAPAN 広報部
New York Designs
テクノパーク桜店、二の宮店
NEC デザイン&プロモーション 株
式会社 我孫子事業所

認定 NPO 法人 市民活動センター
神戸
NPO 法人 あすかユーアイネット
代表理事 宇井 良夫
NPO 法人 あすなろ会 鶴谷
NPO 法人 内モンゴル砂漠植林交流
協会
NPO 法人 おおぞら
NPO 法人 海外植物遺伝資源活動
支援つくば協議会 代表 村田 伸夫
NPO 法人 笠間学童保育の会
NPO 法人 グリーン愛す
代表 鈴木 静枝
NPO 法人 子育て支援グループ ひま
わりのお家
NPO 法人 地域福祉サポートちた
NPO 法人 つくばアーバンガーデ
ニング
NPO 法人つくばアクアライフ研究所
NPO 法人とす市民活動ネットワーク
鈴木 登美子
NPO 法人 並木会
NPO 法人 日本ファシリテーション
協会 事務局長 小藤 輝正
NPO 法人 日本ファシリテーション
協会 平山 猛
NPO 法人 ノースマーク
代表 塩田 昌和
NPO 法人 はつらつ会
NPO 法人 ぱれっと
NPO 法人 ふくおか NPO センター

NPO 法人 ふれあい
理事長 三浦 三重子
NPO 法人 緑の風ヘルスサポート
ジャパン
NPO 法人 ユーアンドアイ
NPO 法人 リヴォルヴ学校教育研究
所
茨城県南生涯現役クラブ
松浦 幹司
いばらき未来基金（仮）設立準備
検討会 有志
印旛・手賀沼環境あつぷ協議会
独立行政法人 大学評価・学位授与
機構 准教授 田中 弥生
ちいさな絆プロジェクト
忠北参与自治市民連帯
つくいち実行委員 小池
舞台屋あい
水戸聖書バプテスト協会
みらいふ 山上 一恵
リバーラガーデン
シニアクラブ一同
NPO 支援財団研究会（公益財団法人
助成財団センター内）
Think the Earth プロジェクト
代表者 谷口 豪

ホープ常磐募金にご寄付いただいた皆様

<個人>

赤津 勝弘	佐々木 直亮・祐子	野田 恵美子
アキヨシ タケジ	笹目 教興	野寺 直美
朝尾 直太	佐藤 久美子	野村 羊子
足立 寿行	佐藤 俊悟	筈谷 元彦
阿部 美幸	サトウ ダイスケ	ハセガワ クミコ
天井 優志	佐藤 成臣	秦 靖枝
天野 義仁	佐藤 政史	ハヤシ リョウタロウ
新井 裕之	佐藤 真智子	久城 一江
有馬 貴子	佐藤 緑子	久松 達央
石井 直美	サワダ フジコ	ヒヨシ ユウコ
石井 那知	茂木 楽	ヒラガ サトシ
石隈 春江	シングル トオル	深谷 美架
石坂 倫子	島村 美智子	副島 由野
石澤 沙紀	治村 圭子	藤田 一美
市川 紀行	末木 文美士	藤田 弥栄子
市川 睦美	須賀 裕子	フジワラ ユミコ
伊藤 万里子	鈴木 亜希子	保坂 健太郎・貴子
岩見 康司	鈴木 英理	ホシノ リエコ
植武 慶子	スズキ ケイタ	前沢 菜穂子
内田 晋	鈴木 学	前田 浩志
ウメダ シゲノリ	鈴木 美千代	益子 美津子
江塚 晶子	須藤 修	舩廣 葉子
江塚 卓夫・淳子	関根 光男	町田 香織
榎 周作	関根 美穂	町田 匡
エモト サトコ	関根 喜代一	松熊 研司・道子
遠藤 桂	平等 文博	増渕 勇人
大熊 明美	高木 宏道	三浦 茜
太田 勇二	竹内 雪見	水谷 浩子
オオヌキ タカシ	田中 未亜	水谷 弘隆
岡田 純	タナカ ユウジ	宮浦 健志
岡本 嘉久一	タニグチ トヨコ	ミヤジマ エイコ
小川 悟	タムラ カズマサ	本山 裕子
小田切 敬子	中馬 美幸	モリシタ ノリコ
金久保 紀子	趙 淑伊	矢崎 芽生
カナヤ シゲオ	鶴貝 泰生	ヤジマ ヒロエ
神長 康典	鶴田 圭寿	矢萩 千治
北村 まさみ	寺門 大輔	山口 郁子
木村 遊	登坂 尚子	山下 加代
京極 泰久	富岡 武	山下 信雄
清川 典康	豊田 紗英	山田 恭子
久保谷 恵子	中谷 裕子	山田 修作
栗原 とし子	中村 光一	山田 高弘
黒川 貴子	中村 光晃	山保 詠美子
小泉 千尋	中村 英晴	ヤマムロ キョウコ
古賀 桃子	成田 佳奈子	山本 志津子
コガネイ ヒロユキ	西澤 亮	米田 衣里
コシイシ マリ	ニシムラ ユウコ	ワタナベ ケンイチ
小林 信幸	根本 美里	渡邊 美香
サイトウ ケイイチ	根本 和宜	
齊藤 友紀子	ネモト キョウタカ	
坂井 卓行	根本 正嗣	
	野澤 栄典	

2011年度 財産目録

2012年3月31日現在

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		719,573		
普通預金		1,602,390		
ゆうちょ銀行振替口座		1,800,382		
商品		612,285		
未収金		15,042,988		
前払費用		302,630		
仮払金		100,000		
流動資産合計			20,180,248	
固定資産				
什器備品		390,811		
車両運搬具		44,967		
建設仮勘定		477,015		
敷金		410,000		
--常総市事務所		240,000		
--いわき事務所		170,000		
固定資産合計			1,322,793	
資産合計				21,503,041
負債の部				
流動負債				
未払金		9,076,995		
前受金（会費）		30,000		
預り金		611,467		
--源泉所得税（給与）		226,854		
--源泉所得税（報酬）		44,416		
--社会保険預かり（水戸）		18,355		
--社会保険預かり（常総）		321,842		
短期借入金		7,631,698		
仮受金		1,446,741		
流動負債合計			18,796,901	
固定負債				
長期借入金		2,220,000		
--commons債		1,550,000		
--とらい債		670,000		
固定負債合計			2,220,000	
負債合計				21,016,901
正味財産合計				486,140

2012年度 貸借対照表

2012年3月31日

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
1110 現金	719,573	4120 未払金	9,076,995
1113 普通預金	1,602,390	100 --その他	9,076,995
1 --No1978796	766,244	4130 前受金	30,000
2 --No6776371	336,146	1 --会費	30,000
4 --No3604475	500,000	4140 預り金	611,467
1119 ゆうちょ銀行振替口座	1,800,382	1 --源泉所得税（給与）	226,854
1210 商品	612,285	2 --源泉所得税（報酬）	44,416
1410 未収金	15,042,988	3 --社会保険預かり（水戸）	18,355
100 --その他	15,042,988	4 --社会保険預かり（常総）	321,842
1430 前払金	0	4150 短期借入金	7,631,698
1440 前払費用	302,630	100 --その他	7,631,698
100 --その他	302,630	4160 仮受金	1,446,741
1470 仮払金	100,000	4170 未払費用	0
100 --その他	100,000	流動負債合計	18,796,901
流動資産合計	20,180,248	固定負債	
固定資産		4310 長期借入金	2,220,000
2250 什器備品	390,811	1 --コモンズ債	1,550,000
2251 車両運搬具	44,967	2 --とらい債	670,000
2260 建設仮勘定	477,015	固定負債合計	2,220,000
2290 敷金	410,000	負債合計	21,016,901
1 --常総市事務所	240,000	正味財産の部	
2 --いわき事務所	170,000	正味財産期首残高	-6,019,340
固定資産合計	1,322,793	当期正味財産増減額	6,505,480
		正味財産合計	486,140
資産合計	21,503,041	負債及び正味財産合計	21,503,041

2011年度 活動計算書

2011年04月01日～2012年03月31日(決算)

茨城NPOセンター・ジェンズ 特定非営利活動に係る事業の会計 (円)

科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
受取会費				
受取会費	1,500,000	1,167,000	333,000	77.8
受取会費計	1,500,000	1,167,000	333,000	77.8
事業収益				
N P O フォーラム事業収益	0	126,000	-126,000	0
講師派遣収益	600,000	1,308,850	-708,850	218.1
自主出版事業収益	430,000	101,530	328,470	23.6
受託販売事業収益	0	636,045	-636,045	0
相談事業収益	1,000,000	155,080	844,920	15.5
協働事業収益	4,300,000	7,151,506	-2,851,506	166.3
ネットワーク支援事業収益	400,000	399,000	1,000	99.8
作業請負事業収益	0	1,819,993	-1,819,993	0
自主イベント事業収益	470,000	309,500	160,500	65.9
常総市事業収益	38,000,000	41,703,283	-3,703,283	109.7
国交省事業収益	0	3,366,982	-3,366,982	0
事業収益計	45,200,000	57,077,769	-11,877,769	126.3
受取補助金等				
受取助成金	19,558,000	12,503,319	7,054,681	63.9
受取補助金等計	19,558,000	12,503,319	7,054,681	63.9
受取寄付金				
受取寄付金	1,500,000	1,669,700	-169,700	111.3
茨城市民ファンド受取寄付金	0	122,856	-122,856	0
ホープ茨城募金（東北・関東大震災支援活動）受取寄付金	4,000,000	10,850,107	-6,850,107	271.3
受取寄付金計	5,500,000	12,642,663	-7,142,663	229.9
雑収益				
受取利息	0	1,291	-1,291	0
雑収益	0	54,000	-54,000	0
雑収益計	0	55,291	-55,291	0
経常収益合計	71,758,000	83,446,042	-11,688,042	116.3
(2)経常費用				
事業費				
【人件費】				
給料手当	33,836,000	31,749,766	2,086,234	93.8
雑給	360,000	0	360,000	0
通勤手当	0	1,277,310	-1,277,310	0
法定福利費	4,650,000	3,970,607	679,393	85.4
福利厚生費	0	16,696	-16,696	0
【人件費計】	38,846,000	37,014,379	1,831,621	28
【その他費用】				
書籍仕入	100,000	28,000	72,000	28
期首商品棚卸高	0	249,220	-249,220	0
会議費	300,000	169,954	130,046	56.7
交際費	10,000	90,629	-80,629	906.3
旅費交通費	3,415,000	5,316,187	-1,901,187	155.7
発送配達費	240,000	436,807	-196,807	182
電話代	1,210,000	685,269	524,731	56.6
郵送料	555,000	326,100	228,900	58.8
インターネット接続費用	0	441,469	-441,469	0
減価償却費	0	500,220	-500,220	0
広告宣伝費	0	88,365	-88,365	0
消耗什器備品費	0	188,346	-188,346	0
消耗品費	2,370,500	3,081,298	-710,798	130
修繕費	0	158,115	-158,115	0
新聞図書費	180,000	600,229	-420,229	333.5
研修費	80,000	200,475	-120,475	250.6
印刷製本費	4,650,000	3,350,124	1,299,876	72
車両費	0	362,930	-362,930	0
水道光熱費	520,000	519,871	129	100
支払地代家賃	2,840,000	3,254,830	-414,830	114.6
リース料	2,900,000	2,534,900	365,100	87.4
一時賃借料	2,018,200	1,340,563	677,637	66.4
保険料	30,000	525,276	-495,276	1750.9
諸会費	200,000	366,390	-166,390	183.2
委託報酬	0	3,399,480	-3,399,480	0
支払報酬	10,983,000	6,608,351	4,374,649	60.2
支払手数料	5,000	103,225	-98,225	2064.5
租税公課	150,000	34,600	115,400	23.1
支払負担金	0	3,152,964	-3,152,964	0
支払寄付金	1,000,000	1,037,000	-37,000	103.7
支払利息	0	37,065	-37,065	0
雑費	315,000	416,951	-101,951	132.4
【その他費用計】	34,071,700	39,605,203	-5,533,503	105.1
事業費計	72,917,700	76,619,582	-3,701,882	105.1
管理費				
【その他費用】				
委託報酬	0	189,000	-189,000	0
支払手数料	0	80	-80	0
【その他費用計】	0	189,080	-189,080	0
法人税、住民税及び事業税	0	131,900	-131,900	0
管理費計	0	320,980	-320,980	0
経常費用合計	72,917,700	76,940,562	-4,022,862	105.5
当期経常増減額	-1,159,700	6,505,480	-7,665,180	-561
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
長期借入金返済支出	770,000	0	770,000	0
経常外費用合計	770,000	0	770,000	0
当期経常外増減額	-770,000	0	-770,000	0
当期一般正味財産増減額	-1,929,700	6,505,480	-8,435,180	-337.1
一般正味財産期首残高	-6,019,340	-6,019,340	0	100
一般正味財産期末残高	-6,019,340	486,140	-6,505,480	-8.1
一般正味財産期末残高	-6,019,340	486,140	-6,505,480	-8.1

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

各事業部門ごとの費用の内訳

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

事業分野		災害支援	相談・出版・講師派遣	人材育成・ネットワーク	協働(行政)事業費	団体支援	常総市事業費	事業費計	管理費	合計
科目		・ホープ常盤プロジェクト ・原子力災害防災訓練 ・復興支援の資金作りに関する実証実験事業	・講師派遣 ・NPO関連書籍の出版 ・法人運営や会計に関する相談	・寄付社会とNPO講座 ・茨城NPOネットワーク ・全国支援組織との連携（日本NPOセンター、会計基準協議会など）	・土浦市協働事業 ・県の新しい公共支援事業（円卓フォーラム、職員研修、NPOセミナー、ファンド検討会、冊子作成）	・シニアネット、ケアマネ研究会、移動サービスネットワークなどの支援 ・地域雇用創造支援 ・セイブジャパン事業	県国庫課から受託した外国人就労就学サポートセンター事業と関連する多文化共生事業			
I 経常収益										
受取会費								0	1,167,000	1,167,000
寄付		10,850,107		369,700	122,856	1,300,000		12,642,663		12,642,663
助成金		12,503,319		1,500,000				14,003,319		14,003,319
参加費		309,500	164,080	182,000		390,000		1,045,580		1,045,580
受託収益		3,366,982			5,520,506	1,819,993	41,703,283	52,410,764		52,410,764
講師派遣			1,308,850					1,308,850		1,308,850
販売収益			737,575					737,575		737,575
その他				75,000				75,000	55,291	130,291
経常収益計		27,029,908	2,210,505	2,126,700	5,643,362	3,509,993	41,703,283	82,223,751	1,222,291	83,446,042
II 経常費用										
1. 事業費										
【人件費】										
給料手当	直接	2,425,000					19,584,066	22,009,066		
	共通	3,967,150	480,867	480,867	1,202,167	360,650	2,163,900	8,655,600		8,655,600
	合計	6,392,150	480,867	480,867	1,202,167	360,650	21,747,966	30,664,666		30,664,666
通勤手当	直接						1,156,730	1,156,730		1,156,730
	共通	55,266	6,699	6,699	16,747	5,024	30,145	120,580		120,580
	合計	55,266	6,699	6,699	16,747	5,024	1,186,875	1,277,310		1,277,310
法定福利費	直接	168,355					2,489,387	2,657,742		2,657,742
	共通	601,730	72,937	72,937	182,342	54,703	328,216	1,312,865		1,312,865
	合計	770,085	72,937	72,937	182,342	54,703	2,817,603	3,970,607		3,970,607
福利厚生費	直接							0		0
	共通	7,652	928	928	2,319	696	4,174	16,696		16,696
	合計	7,652	928	928	2,319	696	4,174	16,696		16,696
人件費小計		7,225,153	561,430	561,430	1,403,575	421,073	25,756,618	35,929,279	0	35,929,279
【その他の経費】								0		0
書籍仕入	合計		28,000					28,000		28,000
期末棚卸	合計		249,220					249,220		249,220
会議費	直接	20,124	0	100,891	3,440			124,455		124,455
	共通	1,07								

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日発表 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

(3) 事業費及び管理費について

事業費及び管理費の区分は、2「事業費及び管理費の内訳」の通りです。

(4) 消費税等の会計処理

消費税は税込処理により処理しています。

2. 事業費及び管理費の内訳

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業費		その他の事業費	合計
	事業費	管理費		
人件費	35,929,279	1,085,100	0	37,014,379
その他の経費	39,378,631	547,552		39,926,183
	75,307,910	1632652	0	76,940,562

3. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。(別紙に添付しています)

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	396,402			396,402	5,591	390,811
車両運搬具		539,596		539,596	494,629	44,967
建設仮勘定		477,015		477,015	0	477,015
投資その他の資産						
敷金	240,000	170,000		410,000	0	410,000
合計	636,402	1,186,611	0	1,823,013	500,220	1,322,793

5. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入				
役員短期借入	3,381,698	900,000	1,650,000	2,631,698
労働者福祉基金借入	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
長期借入				
コモンズ債	1,605,000		55,000	1,550,000
とらい債	670,000		0	670,000
合計	10,656,698	5,900,000	6,705,000	9,851,698

6. 役員及びその近親者との取引の内容

(単位:円)

科目	財務諸表に経常された金額	その内、役員及び近親者との取引
(活動計算書) 受取寄付金	0	0

7. 使途が制約された寄付金等の内訳

(単位:円)

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
福祉医療機構	586,122	3,658,000	4,244,122		福祉施設の原子力災害防止訓練
中央共同募金会		2,980,000	2,980,000		プロジェクト運営職員人件費など
日本財団		3,728,950	3,728,950		いわき現地スタッフ人件費など
三菱商事		2,500,000	2,500,000		いわき現地事務所家賃など
ホープ茨城募金	2,222,680	10,850,107	8,759,247	4,313,540	東日本大震災にともなう茨城と福島の前被災者などの支援活動に使用する
合計	2,808,802	23,717,057	22,212,319	4,313,540	

前事業年度の役員名簿

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日まで

役職名	氏 名	住所または居所	就任期間	報酬を受けた期間
代表理事	斎藤 義則		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
常務理事	横田 能洋		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	安久 正倫		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	江崎 礼子		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	大野 覚		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	奥平 基雄		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	神長 康典		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	菊池 克幸		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	竹中 紀博		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
理 事	徳田 太郎		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
監 事	増山 英和		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし
監 事	田尻 英美子		2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日	なし

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

2012年3月31日現在

(特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・commons)

氏 名	住 所 又 は 居 所
斎藤 義則	
横田 能洋	
安久 正倫	
江崎 礼子	
大野 覚	
奥平 基雄	
神長 康典	
竹中 紀博	
徳田 太郎	
増山 英和	
田尻 英美子	